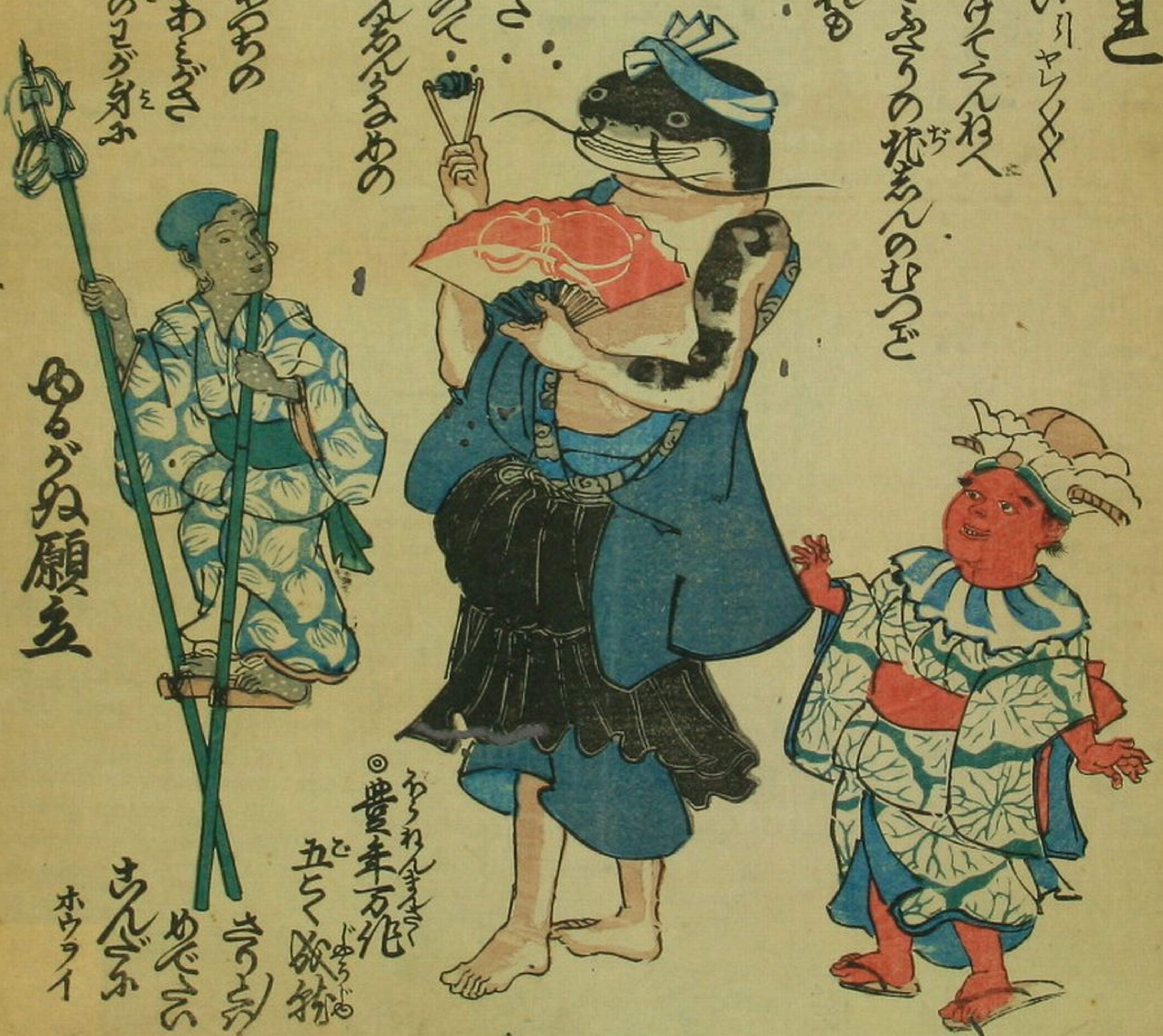
ちよぼくれちよんがれ

「さあうごうらいかゞ大地（ぢしん）てけのゑハリヤレ〳〵
おもてへおにげなせ「どうしてうぎごてうけてゑんねへ
二日の夜四時分（よつどきぶんごろ）のことでお天地（てんち）ゑんどうかァとふきうの地（ぢ）ゑんのむつど
あまづふけされてあんどしひとつでかゞどもせずれも
ちごあがつてねんぶつざゐめく「ぶさまへて
おゐてへとろく戸板一枚生死（といたいちまいしやうし）のさかひど
とちのふちもあきづくかよのておやぢのあづりの
大（こ）きんづゝと落（おと）しゝせぬうとさゞつて見（み）んされバ
サアノ〳〵大べんいつのまにやゝどこへかさつてどうし〳〵
あのごとく〳〵ざつまでわんまうとふさふかひおゞつて
でべそのきふふなかくされてけつゝるとれですゞのわん売んさきめの
鹿島（かしま）さんでもおやどふどぎやうべいとうし〳〵さらさらい
さうらいもわるめへよろしびくろく〳〵まして〳〵わつちの
すこぶるまんざいらく〳〵のおやのかげくらべのわるぎさ
まづもの万年でねでもおこ（おこ）ぶお宿（とや）でねがつて元（もと）のこゞろ（え）ふ
ゆるぐかくのこ神（かみ）のいとゞやかなこのおかめでたい◎



ゆるがぬ願立

◎豊年万作（ほうねんまんさく）
五（ご）こく成就（じやうじゆ）
さう〳〵
めでたい
きんでふ
ホウライ